

くっちゃん町 コミュニティ・スクール 通信

発行所 北海道虻田郡 倶知安町南3東4-2-2
電話 0136-22-0230
www.town.kutchan.hokkaido.jp

コミュニティ・スクール

「地域学校協働活動」「学校運営協議会」って何だろう？

「学校運営協議会」とは、地域と学校が当事者意識をもって、一緒に子どもたちの成長を支える取り組みです。そして、この「学校運営協議会」を設置した学校をコミュニティ・スクール（CS）と呼びます。

「地域学校協働活動」は、地域の高齢者や学生、保護者、NPO、民間企業、団体等の幅広い地域住民等と連携・協働して行う様々な活動です。

この活動で、子どもたちの地域への愛着、担い手としての意識づくりや、地域の課題やニーズに合わせた教育が行われます。

倶知安町教育委員会教育長から

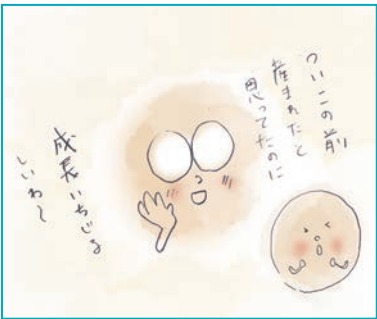
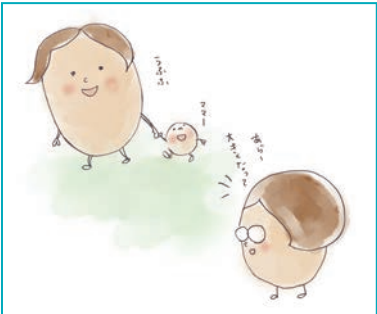


村井 満 教育長

倶知安町では、令和4年度から全ての小中学校にコミュニティ・スクール制度（CS）を導入しました。CSの重要な役割を担う推進員の皆さんは、いつも生き生き、ウキウキ、沢山の活動に取り組まれています。そのハツラツとした活動ぶりを目にするたびに、『遊び心を忘れるな』という言葉思い出しています。どんな仕事であれ、苦しいことや大変なことは必ずあるはずですが、苦勞も含めて楽しもうとする楽天的・積極的な心の在り方が、推進員皆さんの明るい表情に表れているようです。

私たちも遊び心を忘れずに、楽しい取り組み方を心がけたいですね。

じゃがさん



©akaarinodesign

倶知安中学校

7/19～9/20 【陶芸教室】
中学校に隣接する、生がいセンターで陶芸愛好会の会員の指導のもと、陶芸体験を行った。

苦勞しながらコップやお茶碗、お皿など思い通りの形を作り、素焼きを経て、約1ヶ月後に釉薬付け。初めての事に戸惑いながらも初回より、リラックスした様子で指導者にアドバイスを求める姿が印象的。出来上がった作品はどれも個性的で、世界で一つの自分の作品に生徒も顔が輝いて見えた。



▲使い道をイメージしながら作った作品。想像通りに出来たかな？

10/2/5 【対話型鑑賞】
生徒たちが学芸員や友達と自由に話し合いながら、作品への理解を深める『対話型鑑賞』を小川原館記念美術館で行った。

1年生約130人が訪問し、気に入った作品を模写したほか、小川原館の作品を沼田絵美学芸員と共に「これは何だろう？」「この絵の中には何色が見えるかな？」など、普段と違う目線で作品に触れる事が出来た貴重な体験となった。



▲こんな美術館の利用の仕方も学べて面白い！



▲話を聴く顔は皆、真剣そのもの



▲興味のある分野だからこそ、楽しい！

北陽小学校



▼プロに教わる有意義な時間



5/6 【南極の自然・人・暮らし】
高学年を対象に、第64次南極地域観測隊越冬隊長を迎え、南極での暮らし・生物・活動内容について沢山の画像と共に講演会を開催。隊員の構成は様々な業種の人がいることを聞き、誰にでも極地観測隊として参加できる可能性があることを知った。実際に防寒具や靴を試着したり、南極の水に水を入れ約2万年前の空気がパチパチとはじき出てくる様子が会場内のわくわくが止まらない時間となった。

9/8/9 【地域教育研究会】
二日間に渡り、様々な分野の地域の人を講師として招き、児童は事前に選択した体験メニューに参加する『地域の人々によるワークショップ』。

子ども達が、ありのままの体で感じ・頭で考え・心に留まる実体験となる時間を旨とし、メニューの選定を行った。初めて体験する剣道や、火起こし、ジャンベやジャズの世界に大人も子どもも貴重な時間を過ごすことができた。

子どもも目線でありのままを受け入れながら進行してくれる講師の人々も、地域の財産である。この輪が広がっていきまうように。

7/5 【まち探検】
2年生の校外授業「まち探検」。町内の調べたいお店を見学し、選定された推進員も事前に手伝い、当日の同行をした。

お店の中をじっくり見せてもらったり、初めての経験に緊張しつつも楽しく探検できた。教室に帰ってからお店の様子やわかったことを、子どもたちの言葉でまとめた。

「またあの店に行きたい！」との発見もあり、地域の人と交流し、町を知る充実した時間となった。

【水泳学習】
水泳学習では、地域のインストラクターに教えてもらい、先生以外の大人に習うことでまた新たな交流があった。

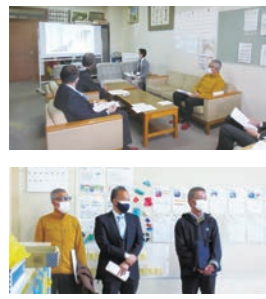
8月の「地域参観日」が感染予防のため直前で中止となったが、少しずつ地域交流を再開できたと願う。

西小学校

5月31日（火）に令和4年度第1回目の学校運営協議会が行われた。地域の代表者と教育関係者PTA代表者が、学校長・教頭と一緒に、学校運営の基本方針や学校の取組について協議した。

その中で、スキーの町ならではの取組や外国人との交流、さらには教科担任制について等の話し合いも行われた。最後に授業の様子を参観した。

▼様々な業種の地域住民が集まる



西小樺山分校

家庭科（裁縫）の授業では、製作に必要な用具の安全な使い方を学び、生活に役立てられるように、経験と知識の豊富な地域の方から「裁縫についての基礎を学んだ。子どもたちの貴重な経験になったことはもちろんのこと、講師を引き受けてくれた地域先生から「とても楽しくて、またお手伝いしたい」との言葉。とても充実した時間となった。



▼苦戦しながらも頑張る

倶知安小学校

5/6/18 【総合的な学習の時間】

「幻の魚 イトウについて、5月6日に尻別川、尻別川支流で現地視察会を行い、5月18日には「尻別川の未来を考えるオビラメの会」の会員の話を聞いた。

イトウの生態や「オビラメの会」の活動から、郷土・地域の自然や環境問題などについて学びを深めた。



▲イトウは今もいるのかな？！色々学びました

地域学校協働活動推進員のお仕事

- 講演会企画・手配
- 各種指導者・ワークショップ講師手配
- 校外授業時のサポート（まち探検・社会科見学・河川調査・美術館）
- CS新聞・通信制作

松井 雅子 推進員
本間 景子 推進員
増田 朱里 推進員

こどもは親だけでは育ちません。学校と地域で連携し、みんなで「子育て」をサポート出来る環境づくりをお手伝い出来たらと思います。